

夏休み中の子どもたちへ

マンスリーピックアップ
[Monthly PickUp]

めあて ① 夏休みを安全に過ごす

夏休みの勉強は計画が大事です。毎日コツコツと地道に取り組もう。一学期に勉強したことを自分の力に変えよう。夏休みでなければできない研究や学びがあるはず。それを見つけて頑張ろう!

もし交通事故に遭ってしまったら、夏休みも二学期も大変なことになってしまいます。それに怖いのは交通事故だけではありません。「自分の命は自分で守る」の気持ちを忘れずに!

書けるかな? いかのおすし!

い	お
か	す
の	し

友達と遊びに出掛けるときに伝えること
①「どこに」
②「だれと」
③「何時に帰る」
を家の人に伝えよう

学校は休みでも「家事」に休みなし。洗濯、掃除、食事の用意…家の仕事はいろいろ。家族の一員として自分にできる家族のためのお手伝いをしよう。

ドラドラを吹き飛ばし、自信をつかむ夏に。夏休みだからこそでできる経験、学びがあるはず。ドラドラと過ごしていたらもったいない。自分からチャレンジする毎日を過ごそう。「今日は〇〇ができて楽しかったな」、「明日は△△をやってみよう」…そんな毎日!

めあて

② 二学期以降の目標を立てる

一学期の生活を振り返ろう→そして二学期へ

学校が楽しくなるように頑張るのは、先生たちも同じ。その先生たちが「先生の目標」を教えてくださいました。みんなも一学期を振り返り、二学期の目標をはっきり決めて、達成できるように頑張ろう。
藤江利久 教育長

■ 一学期の出来事を思い出し、書けることから書いてみよう!

楽しかったこと	学んだこと	続けたいこと
感謝すること	時間をかけたいこと	変えたいこと
↓		
二学期以降の目標		



山田 泰輔 先生

長柄小学校 / 5年2組担任

楽しくて分かりやすい授業をするぞ!
四月の始業式に今の児童たちと初めて出会い、あっという間に夏休みになってしまいました。今、一学期のことを振り返ると、反省ばかりが思い浮かびます。それでも、授業に一生懸命、真面目に授業に取り組んでいた児童たちに感謝の気持ちでいっぱいです。一学期の反省を生かして、児童たちが楽しく、また、生き生きと学習に取り組めるよう授業作りを頑張るぞ!あと、〇〇〇〇も頑張るぞ!目標-7Kg!



長谷川 美波 先生

中野東小学校 / 4学年副担任(算数専科)

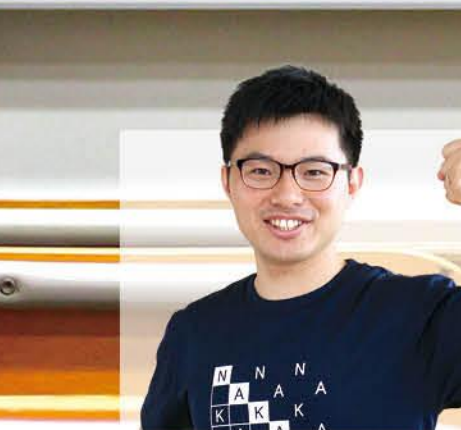
みんなを算数大好きにするぞ!
苦手と思う児童も多い科目「算数」。実は私も子どもの頃そうでした。みんなの気持ち分かりますよ!しかし今は算数の先生です。夏休み中にもしっかりと授業の準備をして、授業中クラスの一人一人が「分かった」「楽しい」とたくさん思える時間が過ごせるように頑張ります!二学期にはパソコンを積極的に取り入れ、私の説明を聞いたり友達と話し合ったりだけでなく、映像からも算数の楽しさを感じてもらいたいです。



岡田 大輝 先生

高島小学校 / 4年2組担任

教師としての修行を続ける
二学期は、一学期よりも児童の頑張り認め、褒めることを意識して、児童に関わっていきます。一学期は、学級担任を初めて持たせていただき、自分に余裕のない日もありました。この夏休みに、頭の中を整理して、児童が学校生活を送る中での頑張りを見落とさないようにしたいと思います。児童たち以上に努力し、より良い教師に成長していきます。皆さんも、目標を持って、一緒に頑張っていきたいと思います。



新井 正樹 先生

中野小学校 / 5年2組担任

続けることこそかに
最近、何かを続けることができているなあと感じています。そこで、お腹に脂肪がつき始めたので、毎日筋トレをしようと思います。毎日腹筋、背筋、腕立て伏せを10回ずつやります。勉強する時間も取れていないので、読書を毎日10分以上します。何かを続けることは難しいことではあるけれど、大きな力になります。「継続は力なり」。毎日続けられるように頑張ります。二学期以降も健康で過ごし、良い授業をしていきたいです。



小栗 美夏 先生

邑楽中学校 / 3学年副担任 / 理科

メリハリを持って学習内容の定着を
二学期は、体育祭や合唱コンクールなどの行事が多くあります。忙しい中で学習を定着させるために、ポイントとなるのが「メリハリをつけた生活」だと思います。全てを全力で取り組むことはスーパーマンでなければできません。なので、遊ぶときは遊び、勉強するときは勉強する。しっかりとリズムを作ることができると、集中力も高まり、効率良い学習を行うことができます。メリハリをつけて一緒に学習に取り組んでいきましょう!!



前原 秀平 先生

邑楽南中学校 / 3年2組担任 / 英語

限界より「少し」頑張る
目標は、三年生と最高の卒業式を迎えることです。そのためには、勉強、行事、部活動など熱中できる何かに真剣に向き合うことが大切だと思います。「このくらいいいや」「このくらいなら文句は言われないだろう」という意識だと何も身に付きません。限界より「少し」頑張る。この「少し」の積み重ねが大きな成長になるはず。このことを私自身にも言い聞かせ、課題にしっかりと向き合って日々勉強していきます。